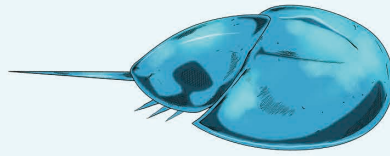


まなべ陽子のかぶとがに通信

市議会だより 7号 令和6（2024）年 1月発行

- P.1 P.3 議員報酬減額の活動について
- P.2 個人質問について
- P.3-4 日々の活動 動画紹介 他



みなさまの声を届け続けた4年間
議員の報酬 50万 → 45万

減額
されました

笠岡市ではじめての
市民による「直接請求」に伴走

令和2年6月

報酬2割カット

賛成 2 不賛成 17

発議!!

議員報酬
2割カット

発議

令和4年6月
令和5年3月

2度目
賛成 1 不賛成 14

市民の皆さまからの請願

市民の想いが届いてほしい

報酬減額
2度の請願

紹介

令和5年6月・7月

有効署名
総数
1603

おねがいします!

署名

笠岡市制初
直接請求

署名活動

令和5年8月7日

議員報酬 減額 全会一致

議員による発議
賛成 16 不賛成 0

直接請求に基づく議案
賛成 1 不賛成 15

報酬等審議会
答申額に

減額

減額はされたけど

修正可決

49歳の再挑戦!

議員報酬の増額分
月8万円は受け取りません!

報酬審(※)は3万円の引き上げと言っているのに

8万円 上げるの!?

どうして

※笠岡市特別職報酬等審議会の略称
市長の諮問に応じて設置される審議会。
議員報酬の額や市長、副市長、教育長の給料の額について審議するため、笠岡市区域内の公共的団体等の代表者その他住民の方で組織。

まなべ陽子

Facebook | YouTube | Instagram | Twitter | LINE | 検索

みなさま、こんにちは。
笠岡市議会議員 まなべ陽子です。
「議員報酬の増額分月8万円は受け取りません!」を掲げた2020年4月からはや、4年が経とうとしています。この間、議員報酬増額分は被災地やウクライナ支援先へ寄附をしなが
「特別職報酬等審議会の答申を尊重せよ!」という市民の皆さまの声を聞きし、集め、笠岡市議会へお伝えしていく活動を続けてまいりました。令和5(2023)年8月7日、議員報酬は全会一致で、特別職報酬等審議会の答申通りに減額されました。まなべはその後、市民の皆さまと議会、行政のかけはしとなるべく、皆さまの声を届ける活動を続けています。

〔議員報酬増額分を寄付するまでに、さまざまにいただいたご意見、そして自ら考えたことについて〕

QRコードで検索できない場合

「議員報酬増額分を2020熊本水害支援に募りました。まなべ陽子」

で検索いただくと幸いです。



〔議員報酬増額分 寄付先について〕

QRコードで検索できない場合

「議員報酬増額分 寄付について (令和4年) まなべ陽子」

で検索いただくと幸いです。



令和5年（2023）9月定例会

- ① インクルーシブ社会の実現について
- ② 近畿笠岡思民の集い、東京笠岡思民の集いについて
- ③ 学校教育について



【 読書バリアフリーの推進について 】

読書バリアフリー法に基づいた環境整備を学校図書館や市立図書館に

答 図書館内に常設でバリアフリーコーナーや展示コーナーを設置する。

答 各校の実態に応じて学校図書館を国会図書館の承認館となるよう申請し、視覚障害者用データサービスを活用する。

【 ヘルプマーク・ヘルプシールについて 】

様々な困難さと共に生きる方々が地域で暮らしていくツールとしてヘルプシールがある。本市での導入は可能か？

答 具体的な事業案をまとめる。

市役所の駐車場案内板にヘルプマークの表示が入りました。



【 学生支援について 】

市内外から笠岡の学校に通われている学生を支援するため、ポルカドット（若者会議拠点施設）を活用できないか？

答 ポルカドットを活用し、学習スペースなどで広く利用してもらえる仕組みを構築中。

【 オーガニック給食について 】

令和3年度から年に一度はオーガニック食材を利用した給食を実施している。令和5年度の計画は？

答 6月と11月の給食で実施。

県は2030年までに有機農業の取組面積を300haに拡大するとしている。市内耕作放棄地と有機農業希望者とのマッチングや専門の担当職員配置についての進捗について尋ねる。

答 耕作放棄地は解決していかなければならない問題。先進地の情報を研究しながら今後導入について考えていきたい。

紙面の都合上、要約しています。詳細についてはぜひ、会議録及び動画をご覧ください。

令和5年（2023）12月定例会

- ① こどもまんなか社会に向けて
- ② 移住・定住・関係人口政策について

【 こどもまんなか社会に向けて 】

子ども達が企業とコラボレーションして開発した地域色豊かな商品を一過性のものではなく、地域に根付かせることはできるか。

答 関係各位と情報共有しながら、最終的に企業に商品化していただき、販売することなど研究していきたい。

子どもたちが色んな審議会に参加できればいいと考えている。例えば参加しやすくするために委員会のオンライン開催は考えているのか。

答 教育課程に位置づけるものであれば可能。

【 学校教育について 】

- ・ 学びの主体を生徒に移譲する
- ・ 1600人いれば1600通りの時間割をつくる
- ・ 実学的な学びにより社会に貢献できる人材を育てるなどの新教育課程を開発されている学校がある。教育長、市長などにぜひ視察に行ってもらいたい。

答 時間を取ってぜひとも訪問したい。



【 新婚等世帯家賃助成金について 】

熟年での結婚も増えてきている。年齢要件を外して欲しい。

答 一度検討してみたい。

【 観光情報記載型ふるさと納税カタログギフトについて 】

ふるさと納税は自治体数も商品数もありすぎて、選びにくい状況がある。ゆっくり商品を選んでいただく、より笠岡市に興味を持っていただくために観光情報なども入れたカタログギフトを作成できないか。

答 関係機関などと話をしてみたい。

子どもの意見反映、参画、声をあげにくい子どもたち、子どもの居場所、園児の欠席確認などについても言及しました。個人質問動画は定例会終了、約1か月後、YouTube上にアップロードされています。ぜひご覧ください。



市議会資料を外部サイトで公開しています。スマートフォン、タブレット、パソコンなどで資料をご確認いただきながら生放送や動画をご覧ください。



会議資料はこちら

反響が大きかった記事の紹介 livedoorブログ 議員カテゴリ最高順位 3位

こんな笠岡市ならいいネ！

皆さまに読んでいただけていることを励みに、日々発信に取り組んでいます。



2022.4.18

飛行
モーター
グライダー
活用
実証



2022.7.30



有機農業
勉強会

オーガニック
給食



提案
教育
制度
バウチャー



2022.5.2



笠岡駅
創出
にぎわい



2023.12.13



2022.4.20

ひょっとすると
テマパーク



2023.8初出

移住
定住
関係

人口政策

広域
入所



議員報酬減額 主な取り組み

これまでの取り組みについて 詳細はこちら



令和2年6月議会

議員報酬を2割カットする内容の発議を賛成者として上程。賛成 2、不賛成 17、反対多数で否決。

令和2年6月議会・9月議会

個人質問において2度、特別職報酬等審議会開催の必要性を市長に提案。

令和3年8月4日 第1回笠岡市特別職報酬等審議会が開かれた。その後、同年10月1日、11月24日と計3回開催された。

令和3年12月、令和5年1月

特別職報酬等審議会答申通りに議員報酬を減額する内容の請願に2度、紹介議員となる。(※1)

(※1) 2度目の請願における紹介者は、まなべ1人のみ。令和5年3月定例会では賛成は私1人、あとのみなさまは不賛成という【圧倒的多数による不採択】という結果であった。

令和4年10月

行政改革特別委員会に提出した笠岡市議会基本条例総括評価票では、(議員報酬)第26条評価において「議員報酬額については、いまだ市民からの批判が絶えない。現在、報酬審の答申額に合わせていることについても、周知されていない。複合的に社会状況が悪化し、市民生活が苦しいという声が日々届く状況の中、報酬審の答申額に今後も合わせていく必要性について検討が必要」と指摘。

令和4年1月臨時会、令和4年6月議会、令和5年3月議会

昭和43年10月17日、自治省局長から出ている通知「特別職の職員の給与について」(※2)について3度質疑をしたが、議会・行政改革特別委員会では自治省局長通達について議論が行われることはなかった。

(※2) 「特別職の職員の給与について」

(2) 特別職報酬等審議会についての5答申の内容の尊重
特別職の職員の給与を改定する際には、審議会の答申の額を上回って給与の額を決定し、または改定の実施時期を繰り上げることをしないよう十分配慮すること

〔笠岡市特別職報酬等審議会答申書〕

「市長、副市長及び教育長の給料額並びに市議会議員、副議長及び議員の報酬額についての答申」(R3.12.24)



政務活動紹介

日頃から学びを共有させていただいている岡山県内有志の女性議員と共に、神奈川県における学校教育、特別支援教育、インクルーシブ教育、子どもの居場所について視察を行いました。(R5.10.26-27)



川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん

視察の詳細はこちらから→
笠岡市議会 行政視察報告



神奈川県教育局インクルーシブ教育推進課



神奈川県立城郷高等学校



横浜創英中学・高等学校



明達館高等学校※関内SNEC

※ 特別なニーズを持つ生徒のための通信制高校

学校教育に関するこれまでの活動



R2.7.31



青山新吾先生と意見交換会



寺脇研さんと生涯教育、
インクルーシブ教育に
ついて勉強会

R2.11.29



R5.7.5

湯澤美紀教授と学習障がい
支援について意見交換会



多層指導モデルMIMの勉強会



R5.7.27



R5.8.6

できた！がふえる工夫展の視察

発達障害児者の”働く”を支える 保護者・専門家によるライフ・キャリア支援

依頼があり、コラムを3本寄稿しました。
子どもたちが生きるこれからの社会、不登校支援など
について書いています。

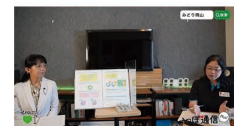


前川喜平さん(元文部科学事務次官)と大塚愛岡山県議会議員と
ともにインクルーシブ教育について対談動画を作成しました。



大塚愛岡山県議会議員定例会報告動画にゲストとして出ました。

- 「配慮(支援)の必要な子どもの高校進学オンライン調査」
- 「岡山の特別支援教育について」



【入会団体・賛同団体】

みどり岡山
自治体議員政策情報センター虹とみどり
気候危機・自治体議員の会
立憲主義と地方自治を守る議員の会
岡山県市議会議員女性の会



manabeyoko.kasaoka@gmail.com

【所属している委員会・審議会】

総務文教委員会
笠岡市都市計画審議会

ホームページ <http://www.manabeyoko-kasaoka.org>

ブログ <http://blog.livedoor.jp/manabeyoko>

Facebook <https://www.facebook.com/manabeyoko>

Instagram https://www.instagram.com/manabe_yoko_k

TikTok www.tiktok.com/@manabeyoko

まなべ陽子市政だより「かぶとがに通信」へのご意見・ご要望・ご提案などお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。